



2022年7月12日

株式会社 阿波銀行

有限会社楠本工業の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社楠本工業（代表取締役 島崎 大輔、本社：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	有限会社楠本工業
所在地	徳島県徳島市川内町大松 406 番地 2
代表者	島崎 大輔
業種	管工事業
設立	1971年3月19日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年7月12日



有限会社楠本工業 代表取締役 島崎 大輔

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	CO2排出抑制のために、エネルギー使用量の把握に努め、さらなる省エネ・節電を推進します。	①LED化の推進、工場を改修し天窓を設置	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を
			②2023年度までに工場・事務所のLED化 100%	12 つくる責任 つかう責任
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。	①廃棄製品を回収し、原材料として再利用	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 13 気候変動に具体的な対策を
			②2023年度リサイクル率前年度比10%増	12 つくる責任 つかう責任
社会・経済	シニア人材の活用	地域の高齢者が生き生きと暮らせるように、高齢者が定年を超えても継続して働ける機会を創出します。	①(1)高齢者の再雇用制度を就業規則にて制定 (2)シニア人材の専門性・技術ノウハウの継承	8 働きがいも経済成長も
			②(1)2023年度までに就業規則改定 (2)65歳以上のシニア採用を継続	11 住み続けられるまちづくりを
経済	労働環境の整備	従業員の心身の健康に配慮し、働き甲斐のある労働環境を整備します。	①(1)適切な労働時間・休暇取得など働きやすい労働環境の整備 (2)資格取得の支援	3 すべての人に健康と福祉を
			②(1)2023年度までに方針、規程を見直し全社員へ通知 (2)資格取得費用の全額負担	8 働きがいも経済成長も

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。